

令和六年度 一学期終業式 代表児童の言葉

わたしは、一学期に音楽会の鉄きん、木きんのオーディションに向けた練習をがんばりました。初めてオーディションのか題がくばられて、木きんで音を出したらとてもむずかしかったです。でも、中休みや昼休み、家でも自由帳に書いて、毎日、毎日練習をやり続けました。だんだんできるようになりました。楽ふを見ないでできるようになってうれしかったです。

そしてオーディションの日、音楽室で自分の番が来た時、とてもきんちようしました。木きんで音を出して、一回まちがえてしまいました。練習の時は、うまくいていたのにまちがえて悲しかったです。

でも終わったときは、

「〇〇、うまかったぞ。」

とクラスの友だちに言われました。それでオーディションに受かる自信がもてました。オーディションに受かることができたので、音楽会では、一生けんめい木きんをたたきたいです。